

Guide 3-14

統計を探すためのツール (日本の過去の統計)

明治時代から 1970 年代にかけての日本の統計を探すためのツールをご紹介します。

▶ 【資料】日本統計索引 (1975)

【1975 (昭和 50) 年当時の統計をキーワードから探す！】

当時の主要な官公庁の統計の索引。末尾の「統計利用の手引き」では、当時の統計に関する基礎資料を紹介しています。また、分冊として『日本統計索引補遺 国別・地域別篇』があります。これは『日本統計索引』に収録した日本の統計の中における海外関係の統計をまとめた索引です。第 3 部の「外国統計調査の手びき」では、当時の海外統計の調べ方や基礎資料を知ることができます。本館・書庫・和書や経済学部図書室 (315.1/NIP) などにあります。

▶ 【資料】日本統計総索引 (1959)

【1958 (昭和 33) 年当時の統計をキーワードから探す！】

当時の主要な官公庁の統計の索引。臨時の統計については 1950 (昭和 25) 年以降を全て収録し、重要なものは 1945 (昭和 20) 年に遡って収録しています。戦後復興期の統計をキーワードから探すための主要なツールと言えます。末尾の統計調査名一覧には当時の地方公共団体の届出統計もまとめています。これら地方の統計は索引本編には載っていないものの、当時存在した届出統計を知ることができます。本館の書庫・和書 (016.3/SEN) や中央書庫 1 階・参考辞書室 (315.1/SE)、工学部中央図書室 (310/SE57) などにあります。

▶ 【資料】統計調査総覧：統計利用者への手びき (1956)

【戦後の統計について内容の詳細を確認しながら探したい】

1956 (昭和 31) 年当時の主要な統計の解題 (図書の解説のこと)。2 部構成。第 1 部は官公庁などが 1951 (昭和 26) 年から 1955 (昭和 30) 年までに行った 1576 の調査を収録し、特に主要な調査については調査方法などの内容とともに留意する点を備考にまとめています。第 2 部は 1946 (昭和 21) 年以降に主に労働組合が実施した 197 の調査を取り上げています。索引はありません。本館・書庫・和書 (315.1/MIN) や北図書館・書庫・図書 (315.1/MI) などにあります。

▶ 【資料】改訂増補・本邦現行統計資料解題 (1952)

【戦後の統計について内容の詳細を確認しながら探したい】

1945 (昭和 20) 年から 1951 (昭和 26) 年までに刊行された統計資料のうち、地方公共団体や民間の統計も含んで内容を解説しています。2 部構成で第 1 部は「単行統計資料の部」、第 2 部は「定期刊行統計資料の部」。末尾に編集者別索引があります。本館・中央書庫 1 階・参考文献目録 (016.3/KOK) に所蔵しています。

▶ 【資料】民間統計調査資料一覧 (1956、1959、1962、1964、1968、1971)

【昭和 30-40 年代の民間統計を調べたいときに】

1956 (昭和 31) 年から 1971 (昭和 46) 年にかけて刊行された民間統計の一覧表。機関ごとに統計の名称や内容、収集方法が記されています。本館・自動化書庫にあります。



【資料】日本経済統計資料総合目録 農林業編、鉱工業・エネルギー産業編、財政・金融・経営・商業・貿易・運輸編

【戦前の経済に関する統計ならこれ！】

1909（明治42）年から1947（昭和22）年にかけて刊行された経済統計について、内容や変遷をまとめた書誌編と、大学図書館等の所蔵状況をまとめた所蔵編にまとめています。本館・書庫・和書（330.3/KEI、330/KEI）などに所蔵しています。



【資料】統計資料解題（1936）

【戦前の統計について探したい（その1）】

1935（昭和10）年までの統計について解説しています。一部、明治期の統計も含まれていますが、主に収録されているのは1920（大正9）年ごろからの統計です。地方公共団体や民間の統計も含んで発行機関別に内容を解説しています。末尾にキーワード索引と50音順索引があります。本館・書庫・和書（310/NAI、復刻版）に所蔵しています。



【資料】本邦統計資料解説（1936）

【戦前の統計について探したい（その2）】

1935（昭和10）年当時の統計について解説しています。2部構成で前編は「統計資料供給者主体別資料」、後編は「項目別主要資料解説」。官公庁、地方公共団体、民間の統計を含み、定期的な統計については創刊時期を記載している場合があります。末尾にキーワード索引があります。本館・中央書庫1階・参考辞書事典（310/GO）に所蔵しています。



【資料】明治前期日本経済統計解題書誌 富国強兵篇（1936）

【明治初期の統計について、明治政府の各組織・制度の整備過程とともに知りたい！】

1868（明治元）年から1884（明治17）年に刊行された統計資料について内容をまとめるとともに、内閣文庫、総理府統計局図書館（現在は総務省統計局統計図書館）、国立国会図書館、一橋大学附属図書館、日本経済統計文献センター（現在は一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター）のいずれに所蔵しているかを示しています。統計のみならず明治政府の組織・制度の整備過程についても総説がなされており、参考文献も挙げられています。上の3巻、下巻、補遺に文献索引、機関名索引、人名索引があります。本館・中央書庫1階・参考蔵書目録（一橋大学の棚）に所蔵しています。



【資料】都道府県統計書集成：明治6年-昭和47年：マイクロフィルム版総目録

【明治から1940年代までの都道府県の統計を入手したい！】

明治以降から1972年（昭和47）年にかけての各都道府県が毎年刊行した統計書の本文を雄松堂書店がマイクロフィルム化したものの目録。北大にあるマイクロフィルムは『明治年間府県統計書集成』と『大正・昭和年間府県統計書集成』のみ（明治以降から1940年代まで）です。本館・北書庫5階・マイクロ資料室に所蔵しています。



【Web サイト】国立国会図書館デジタル化資料送信サービス（本館、水産学部図書室のみ）

【見たい統計が決まったら・・・一度お試しください！】



国立国会図書館内でしか閲覧できなかったデジタル化資料が2014年度から北大で利用できるようになりました。過去の統計も多く収録しています。上記の資料で見たい統計が決まったら、このサービスの利用も選択肢に入れてみてください。利用できるのは本館と水産学部図書室で、北大構成員のみ平日9:00-17:00利用可能です。利用について詳しくはカウンターにお問い合わせください。

参考文献

上田志保. 日本を調べるための日本の参考図書：統計資料のレファレンス・ガイド. 参考書誌研究. 2004, 60号, p.1-62.

<https://rnavi.ndl.go.jp/bibliography/entry/bn60-69.php>, (参照 2015-07-15).